

# 復興まちづくり進捗状況説明会 (中原校区)

令和4年11月  
人吉市

# 【次第】

- 1 開会
- 2 復興まちづくりの進捗状況について
- 3 避難路整備の進捗状況について
- 4 質疑応答

令和2年7月豪雨災害を経験し、私たちは球磨川とともに暮らすことについて、改めて深く考えさせられました。この災害を踏まえた中で、私たちはこれから生きる場所、立ち上がるグラウンドを決めなければなりません。

そして、私たちは災害を乗り越え、これからも安心して住み続けるために、あらゆる知恵を結集し、必要な取り組みを迅速に展開していく必要があります。

本市では、今年度から第6次人吉市総合計画をスタートさせました。計画では、「まちづくりの理念」として、これまで大切にしてきた価値を護り、育てていくとともに、本市に住むすべての人々の幸せに繋げるための道標として、「みんなが幸せを感じるまち。ずっと住み続けたいまち。ひとよし」を掲げました。

「これまで大切にしてきた価値」の中でも欠かすことが出来ないものとして、常にまちの中心にあり、市民の心の拠り所となり、日々の生活を支え、多くの恩恵をもたらしてくれた球磨川への想いがあります。

災害からの復旧・復興を進めていくうえでは、球磨川をはじめとする自然が私たちのくらしと切っても切れない存在であることを認めつつ、今回の災害を教訓に市民・地域・行政等が一丸となって一日も早い復旧・復興を実現し、安心してずっと住み続けられるまち、次世代につながるまちを共に創り上げていく必要があります。

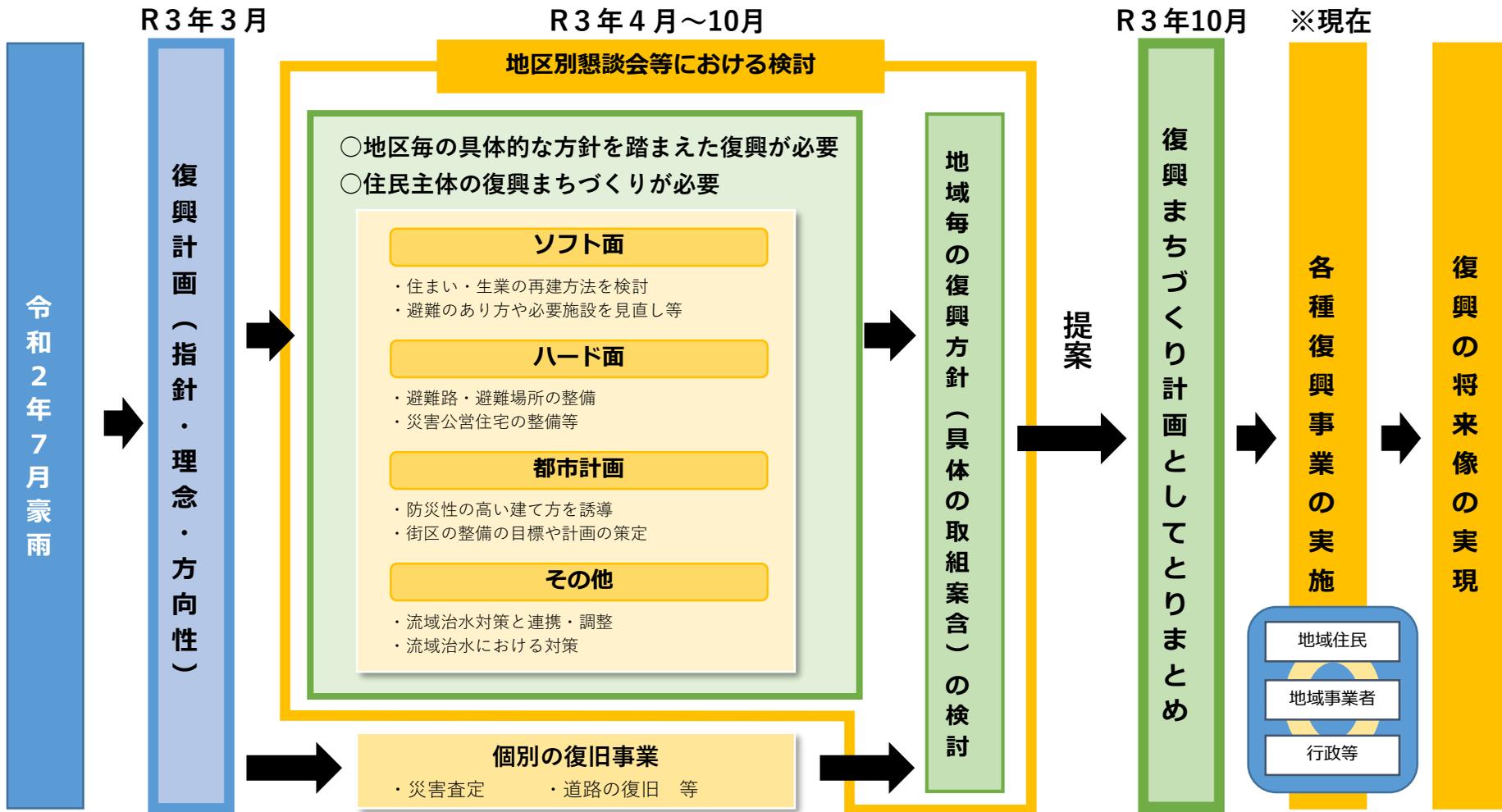
これらを踏まえて、復興の将来像（復興ビジョン）を次のとおりとします。

【復興の将来像（復興ビジョン）】

～希望ある復興を目指して～

球磨川と共に創る みんなが安心して住み続けられるまち

# 復興まちづくり計画の策定



豪雨災害からの  
復旧復興に向け  
た大きな指針



地区別懇談会



全体報告会

# 令和3年10月「人吉市復興まちづくり計画」策定（令和4年3月改定）



## 復興まちづくりに関する各種取組の推進

①被災者のくらし再建とコミュニティの再生

②力強い地域経済の再生

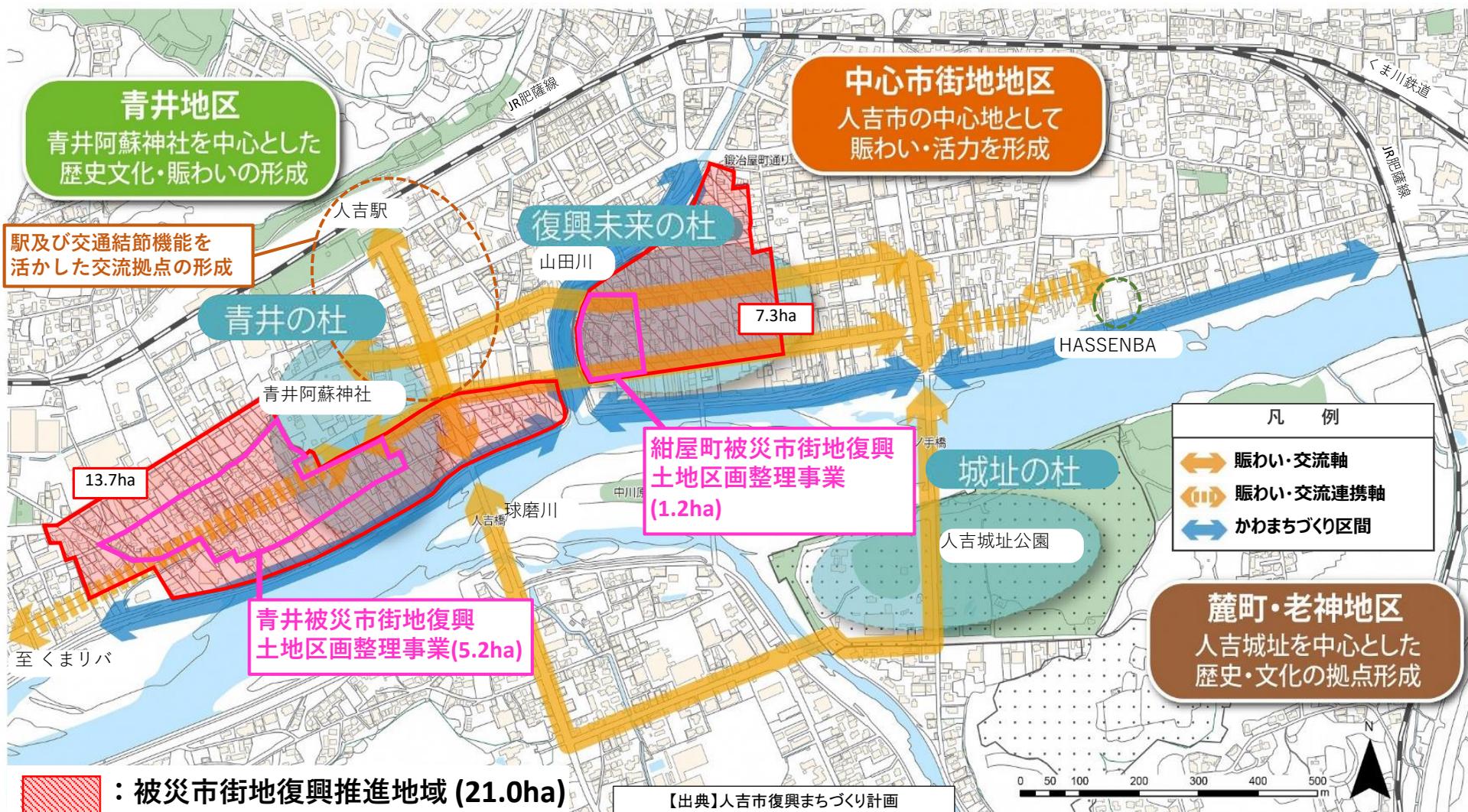
③災害に負けないまちづくり

- 住まいの再建
- コミュニティの再生
- なりわいの再建
- 避難対策 ■ 洪水に対する避難の考え方
- 復興まちづくり（まちなかの再生）
- 治水・土砂災害対策

## 災害を踏まえたまちなかのグランドデザイン

まちなかエリア：青井地区・中心市街地地区・麓・老地区

市街地の弾力的復興に向けて、**防災上の課題解決とともに賑わいのあるまちなみ整備**に向けた取組を進めています。**人吉らしさや賑わいを発信する集客拠点“3つの杜”の形成と回遊促進を図り**、それぞれの拠点が連携し、まちなか全体の活性化につながるよう**復興まちづくりを推進**します



## 農地、農業用施設、林道の災害復旧

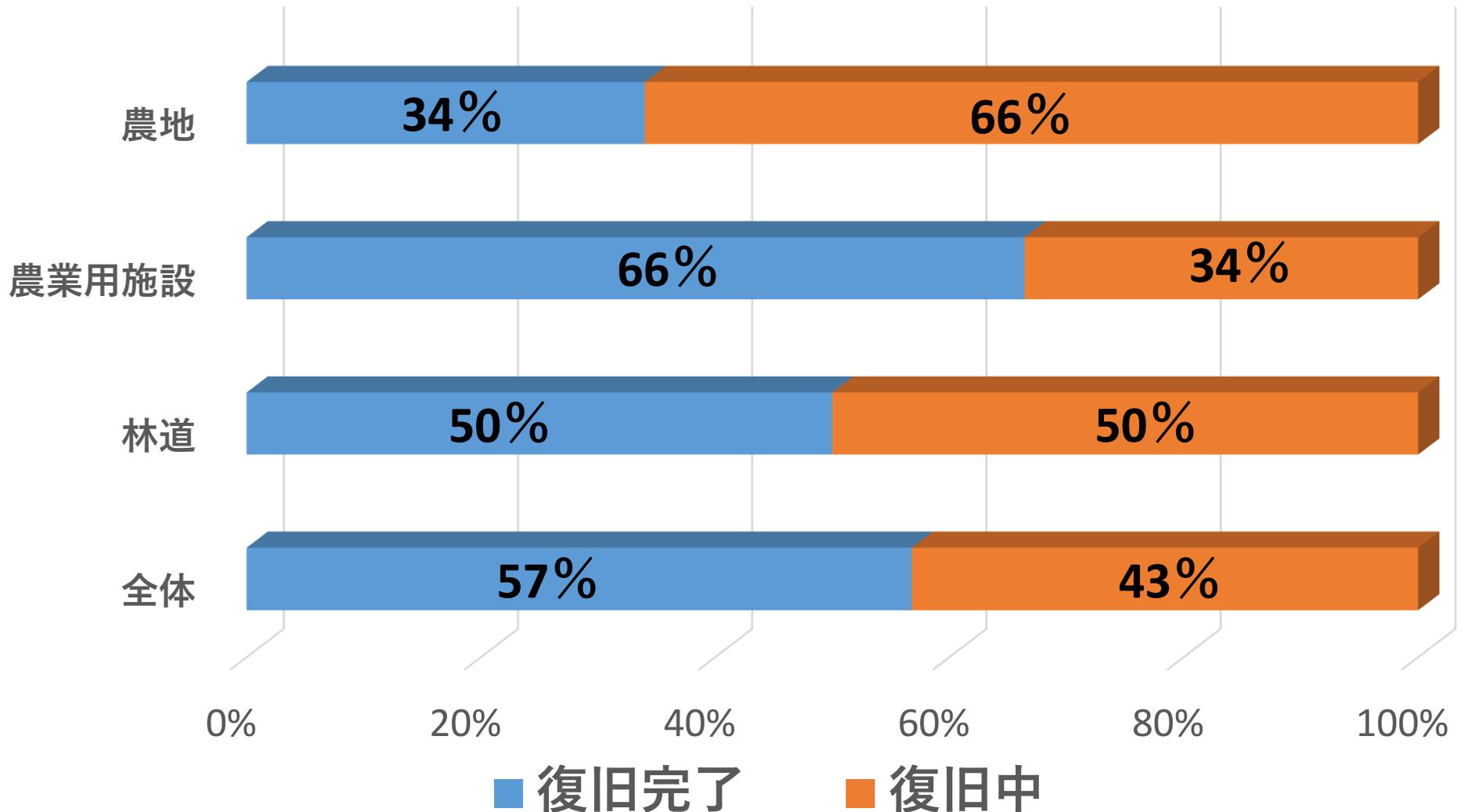
○R4.10月末時点における復旧状況（市全体）

農地：復旧工事対象件数 50件、復旧中 33件、完了 17件

農業用施設(市管理)：復旧工事対象件数 134件、復旧中 45件、完了 89件

林道：災害復旧事業対象 11路線・22箇所、復旧中 11箇所、完了 11箇所

○農地・農業用施設、林道の復旧を**令和4年度までの完了**を目指し順次復旧作業を進めています。



## 道路、橋りょう、河川（市管理分）の災害復旧

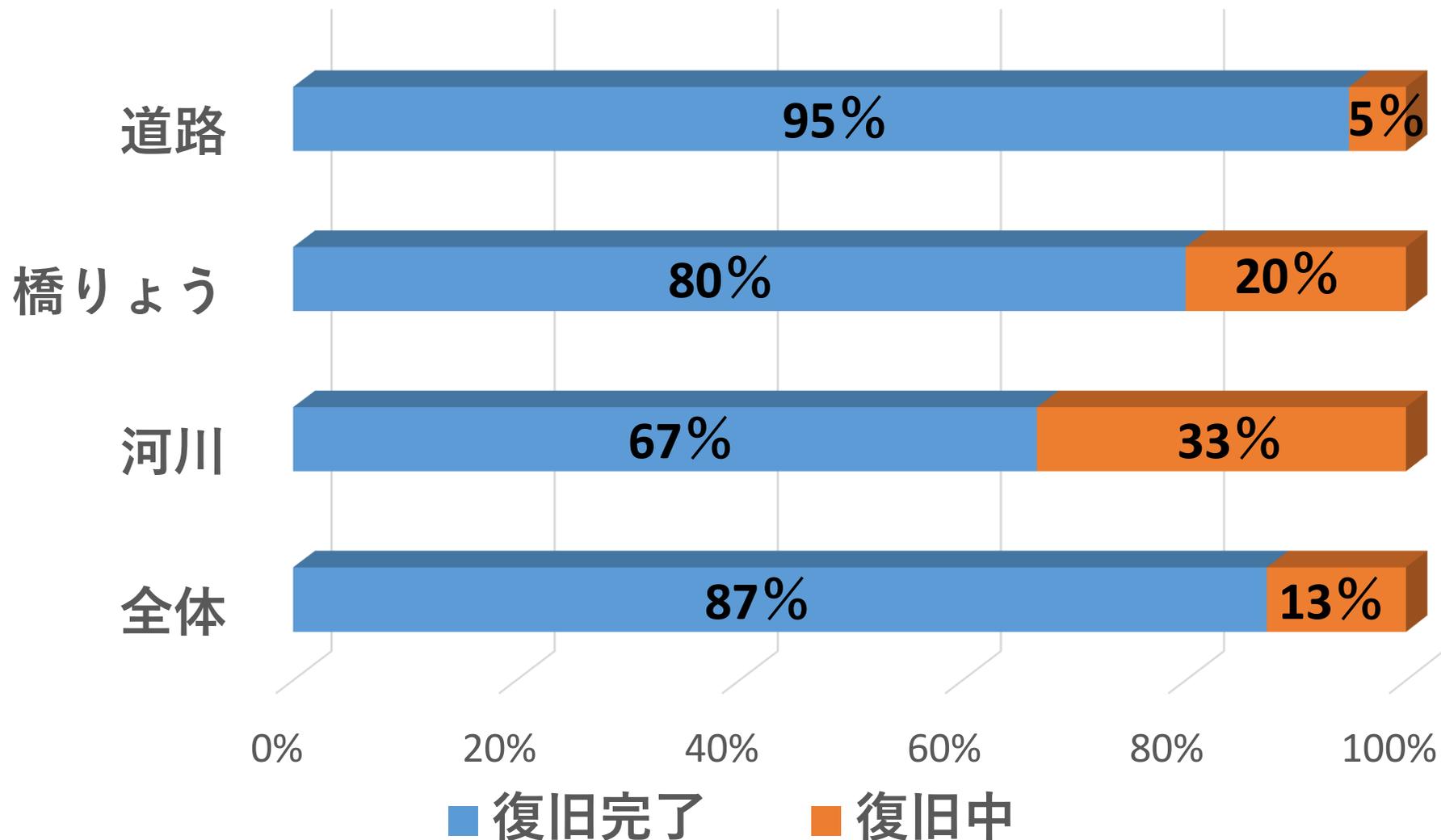
○R4.10月末時点における復旧状況（市全体）

道路：復旧対象 38箇所、復旧中 2箇所、完了 36箇所

橋りょう：復旧対象 5橋、復旧中 1橋、完了 4橋

河川：復旧対象 12箇所、復旧中 4箇所、完了 8箇所

○市管理分については、復旧を**令和4年度までの完了**を目指し順次復旧作業を進めています。



- 仮設住宅等に入居していた世帯のうち、約半数が退去し再建済。
- 住まいの再建の見通しが立っていない世帯については、地域支え合いセンターと連携しながら引き続き支援を進める。

## 応急仮設住宅入居状況

単位：世帯数

	R3.3月末	R4.3月末	R4.10月末
建設型仮設住宅	340	266	203
みなし仮設住宅	460	343	163
公営住宅一時入居	131	113	75
合計	931	722	441

- 自力で住宅再建することが困難な被災者のために、災害公営住宅の整備や、建設型応急住宅（木造仮設住宅）の利活用により長期的な住まいの確保を支援

## 災害公営住宅の整備

- R4.11月末まで入居申込受付中（仮申込者のみ対象）

相良町

R6.1月入居に向けて現在施工中

- エレベーター付き集合住宅タイプ（120戸）を整備。

東校区

R6.5月入居に向けて準備中

- 55戸分の整備を東校区内で予定。
- R4.12月下旬に事業者を決定する予定。



## 建設型応急住宅を長期的な住まいとして活用

- 建設型応急住宅を県から譲り受け、長期的な住まいとして被災者へ供給。

村山あやめ広場仮設団地  
西間第一・第二・第三仮設団地  
下原田第一・第三仮設団地

**6箇所**を整備

R6.3月下旬入居に向けて準備中



## 被災した社会教育施設の復旧

### 東西コミュニティセンター

- 現在の場所に復旧。
- 浸水対策として空調設備の室外機等の嵩上げ工事や、消火ポンプ室への浸水を防ぐ止水壁の設置工事等を実施。
- 現在工事中でR4年度完了予定。



被災時



現地に復旧予定  
(原形復旧)

### 西瀬コミュニティセンター

- 場所を隣接地（西瀬コミセン第二駐車場）に移転し復旧。
- 既存施設解体済(R4.9末)。現在、土地造成工事に着手(R5.3末完了予定)。
- R5年度に新築工事着手  
R6年度完了予定。



被災時



移転予定地：  
西瀬コミセン第二駐車場

# 人吉城跡の復旧状況



③北東隅石垣間詰充填

②北外曲輪陥没修復

⑤人吉城歴史館  
復旧方針検討



①三の丸北側のり面



御館跡北側石垣

御館跡西側石垣



④復元建造物修理



①、③、④については、R4年度完了予定。  
 ②はR5年度完了予定。  
 御館跡西側石垣はR5年度着工、R6年度完了予定。  
 人吉城跡への立ち入り規制解除はR5.6月予定。

〈凡例〉

- 史跡範囲
- 石垣孕み出し
- のり面崩落
- 土砂堆積
- 石垣背面洗堀、陥没
- 復元建造物浸水
- 復元堀浸水
- 崩落防止柵損壊



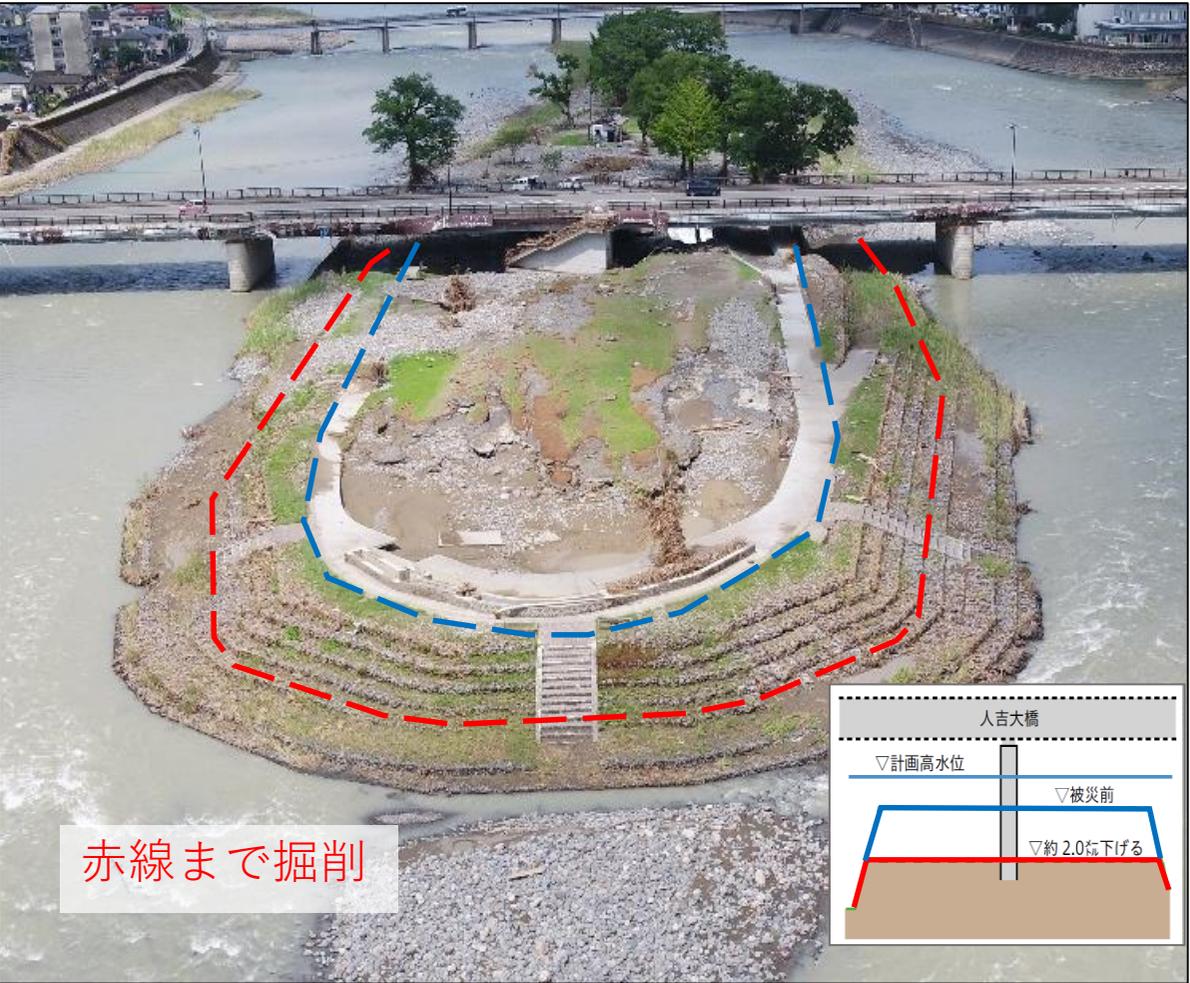
# 中川原公園の復旧について

## ●中川原公園の復旧内容（予定）

- ・公園地盤高を約 2 m掘り下げて復旧（芝生広場）。
- ・公園施設、トイレ、遊具は設置しない。
- ・復旧後の中川原公園の利活用については、かわまちづくり等において市民の皆様にご意見をいただきながら検討。

## ●中川原公園の復旧スケジュール

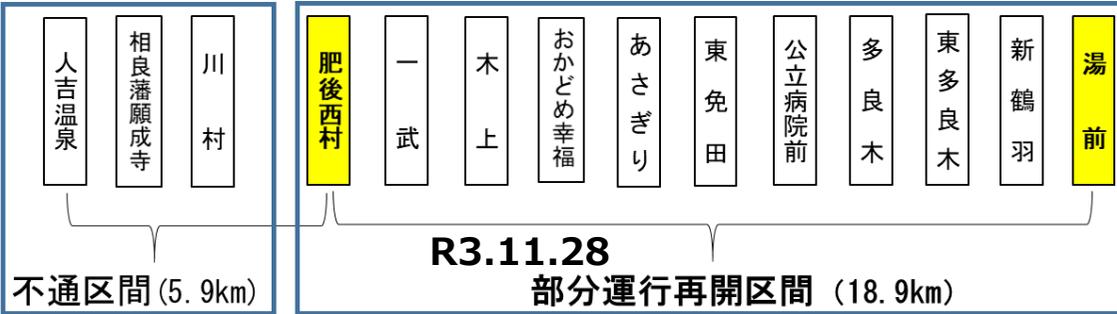
- 令和4年9月 国による地盤下げ工事着工
- 令和5年3月 地盤下げ工事完了予定
- 令和5年度～ 市による災害復旧工事予定



中川原公園平面図



# くま川鉄道の復旧



## 不通区間の復旧スケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
橋梁建設工事	→			
軌道復旧	→			
その他の復旧	→			

全線再開

**令和7年度中の全線運転再開を目指します**

# 肥薩線の復旧

- JR肥薩線検討会議  
復旧方法、復旧後の肥薩線の在り方について検討
- JR肥薩線再生協議会  
復旧に向けた方策、今後の利活用策等について協議

- 要望活動  
JR肥薩線再生協議会、肥薩線利用促進・魅力発信協議会
- ・ 部分運行、全線鉄道での復旧
- ・ 新たな観光列車の運行
- ・ 財政支援措置 等々

## 球磨川第四橋梁復旧イメージ(川村駅～肥後西村駅間)



## ○肥薩線復旧を願うアピール集会(令和4年3月20日)



# まちなかの賑わい創出



HITONOWAマーケットをまちなかで定期開催  
(人吉商工会議所 R4.3月~)

# ひかりを活用した観光再生の取組



観光拠点をひかりで演出する取組  
(人吉ひかりの復興プロジェクトによる官民連携の取組)



民間事業者主体の飲食店街整備の取組『紺屋小町』 (R4.12完成予定)

# 新たな観光プログラム開発



被災経験を学びの場に  
(人吉温泉観光協会)

## 遊水地整備について（中神地区）



## 遊水地整備について（大柿地区）

遊水地  
(掘込式)

- R4年11月23日  
今後の住まい及び治水対策  
(遊水地)に関する説明会開催
- R5年1月～  
国による測量調査開始
- 工事着手時期は未定
- 今後、住まい再建に向けて  
支援を進めていく

# 天狗橋の復旧(国の権限代行により復旧)



## これまでの河道掘削の実施状況(人吉市)

実施箇所

- 球磨川河道内の掘削を行っており、令和4年9月末現在約172万m<sup>3</sup>を撤去。引き続き、堆積土砂の掘削を推進。
- 令和4年9月末までに人吉市では10箇所の河道掘削を実施。



R4.9月末時点

【施工前状況】

【施工後状況】

【施工前状況】

【施工後状況】

61k000左岸  
人吉橋下流付近

60k400右岸  
織月大橋上流付近



国提供資料

【施工前状況】

【施工後状況】

61k800右岸  
水の手橋下流付近



【施工前状況】

【施工後状況】

59k400右岸  
西瀬橋下流付近



63k400左岸  
球磨川第3橋上流付近



59k000左岸  
西瀬橋下流付近



57k200左岸  
西瀬橋下流付近



55k200左岸  
紅取橋下流付近



【施工前状況】

【施工後状況】

55k750左岸  
紅取橋下流付近

9



【施工前状況】

【施工後状況】

61k200中州  
中川原公園際付近

10



～ “緑の流域治水” の取組み～

堆積土砂の撤去など河川の緊急対策（県管理区間）

＜発災から2年の取組みと成果＞

◆ 堆積土砂撤去・河道掘削

- ・県球磨地域振興局が管理する河川（万江川など）について、令和3年5月末までに、約83万 $m^3$ （うち人吉市管内約16万 $m^3$ ）を撤去し、令和2年7月豪雨で堆積した土砂の撤去完了
- ・更に、その後堆積した河道内の土砂について、令和4年5月末までに、約20万 $m^3$ （うち人吉市管内約3万 $m^3$ ）を撤去完了

◆ 河川情報の充実

- ・水位計12基、河川カメラ11基を増設（※）
- ・夜間でも河川の状況が確認できるよう、河川カメラへの照明設備追加（※）権限代行含む

山田川（人吉市紺屋町・駒井田町）



福川（人吉市下林町・下薩摩瀬町）

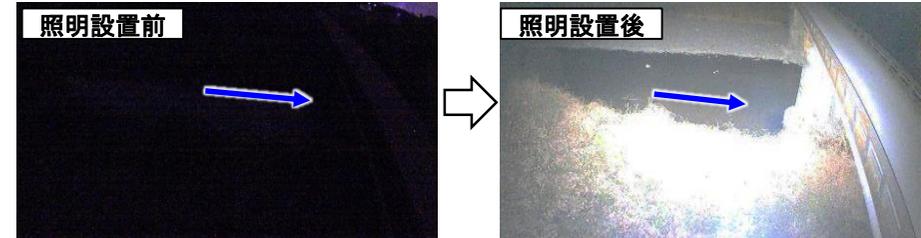


＜今後の展望と取組み＞

◆ 堆積土砂撤去・河道掘削

- ・引き続き、流域住民の声をお聞きしながら、出水に備え、河川の流下能力の維持・向上を図る
- ◆ 河川情報の充実
  - ・河川カメラの増設等の検討

万江川（人吉市上原田町）



御溝川（人吉市駒井田町）



鹿目川（人吉市下戸越町）



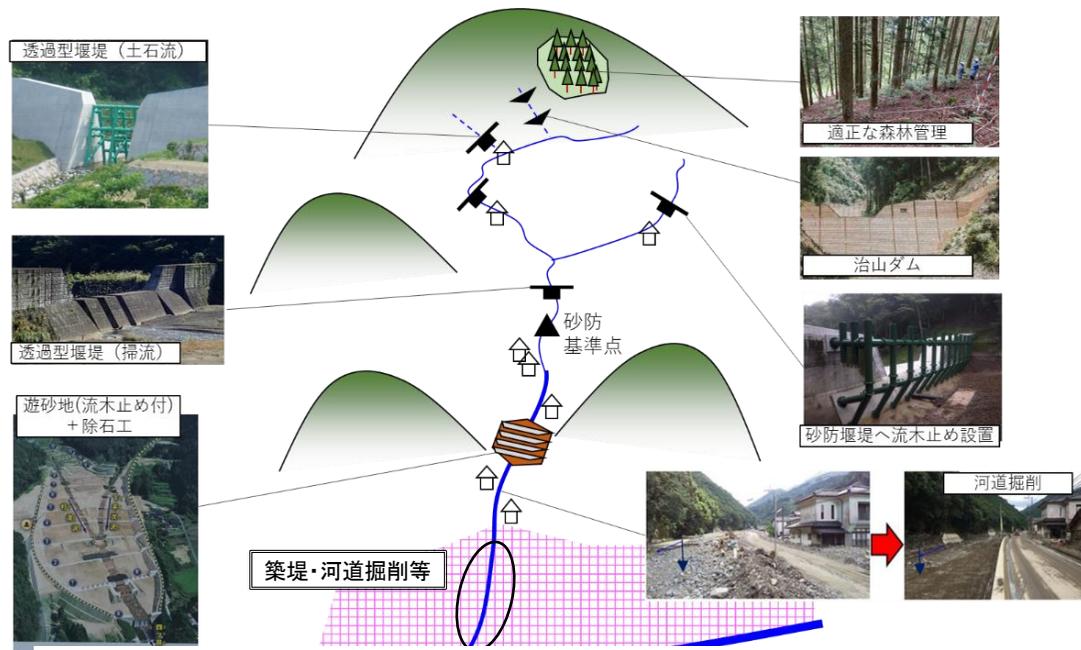
# ～ “緑の流域治水” の取り組み～

## 万江川の土砂洪水氾濫対策について

- 万江川においては、令和2年7月豪雨により上流域から大量の土砂・流木が流出し、河道閉塞等が生じ、氾濫が発生したことを踏まえ、学識経験者等で構成する「万江川土砂・洪水氾濫対策検討委員会」を設置し、砂防事業としての対策や、河川事業及び治山事業との連携について具体的な検討を進めています。
- 年度内に計3回の検討委員会を行い、土砂・洪水氾濫の対策をとりまとめ、実施して参ります。



背景には地理院タイル (ランドサットモザイク画像) を使用。  
 データソース: Landsat8画像 (GSI, TSIC, GEO Grid/AIST), Landsat8画像 (courtesy of the U.S. Geological Survey), 海底地形 (GEBCO)



上図. 流域治水における土砂・洪水氾濫対策のイメージ

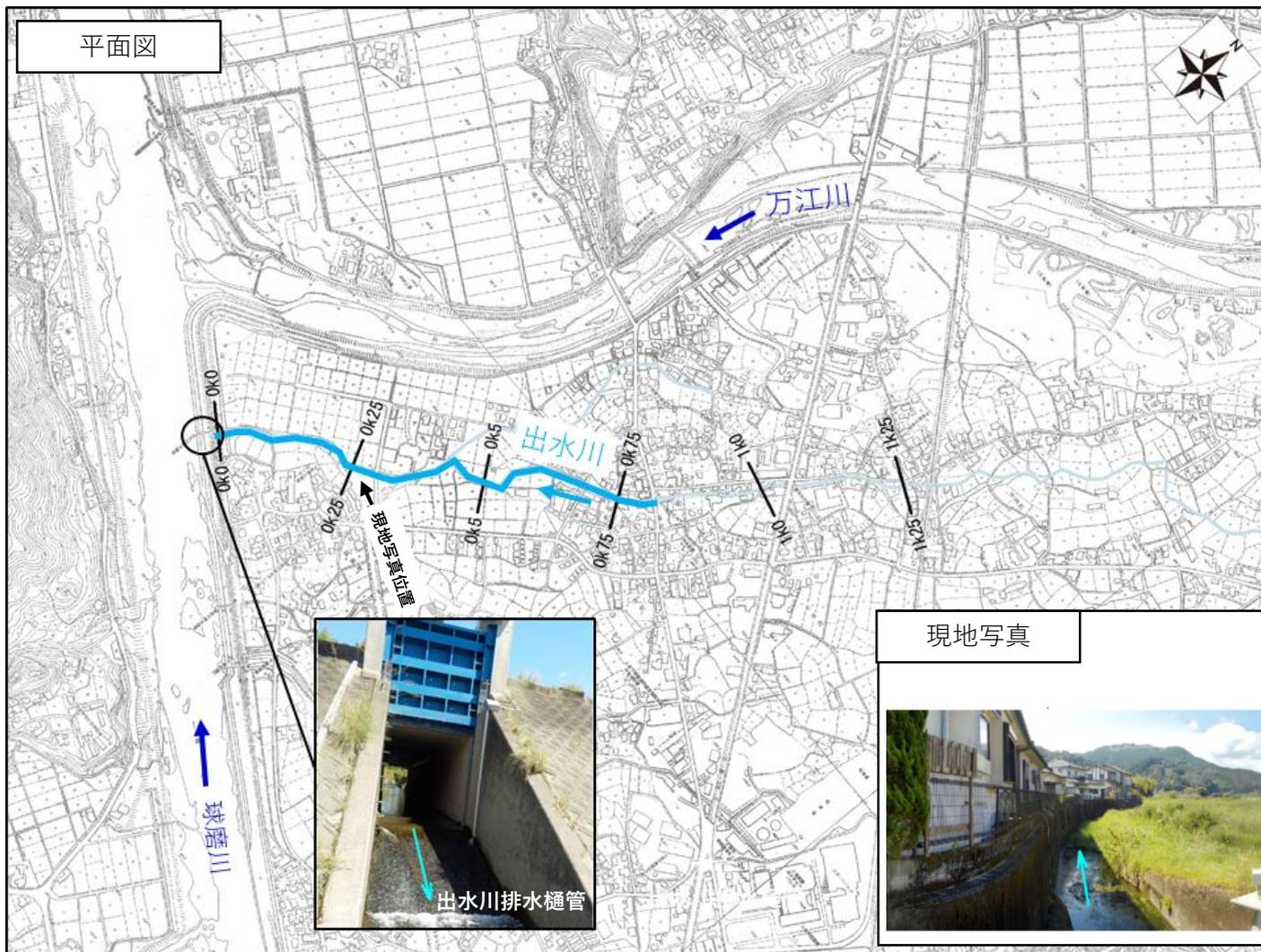
※土砂・洪水氾濫とは

豪雨により上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道で堆積することにより、河床上昇・河道閉塞が引き起こされ土砂と泥水の氾濫が発生する現象。土砂とともに上流域から流出した流木が氾濫する場合もある。

# ～ “緑の流域治水” の取組み～

## 出水川周辺地の浸水対策について

- 出水川周辺では、球磨川本川の水位上昇の際に出水川排水樋管の閉鎖による浸水被害が発生しています。
- このため、球磨川水系河川整備計画では、浸水被害の軽減を図る合流点処理を行うこととしています。
- 今後、具体的な検討に必要な現地測量の実施について、市と連携し、説明会を実施する予定としております。



# 町内公民館（自治公民館）の復旧

● 市内全域では27町内会の自治公民館が被災し、22町内会の自治公民館は復旧完了。

中原校区

● 復旧完了した自治公民館



中神町城本町内  
学習センター



下林町前村町内会館



下林町二区公民館



中神町大柿  
町内農村集落センター



中神町小柿公民館



下原田町瓜生田  
地域学習センター

# 地域の組織で管理している未指定文化財（地域コミュニティ施設等）の復旧

● 被災を確認している29施設のうち、復興基金を活用して5施設が復旧完了。

中原校区

● 被災を確認している施設一覧

- ・大柿毘沙門堂
- ・白木社妙見
- ・八王子神社(小柿観音堂敷地内)
- ・湯の元観音堂
- ・地蔵堂(瓜生いちべえ地蔵堂)
- ・大柿観音堂
- ・小柿観音堂
- ・温泉町観音堂(湯の神神社)
- ・八坂神社



大柿毘沙門堂  
復旧状況



温泉町観音堂  
被災状況



白木社妙見  
被災状況

## みんなの家の整備

- 被災した5町内会に上新町を加えた6町内会を対象に、被災した公民館に替わる「みんなの家」を4箇所整備（日本財団による支援）。  
R4年度着工、R5年度引渡し目標。



# 実績浸水深の標識設置

○誰もが、水害に対する危機意識を持つことができるよう、国・県と連携し、令和2年7月豪雨災害における実績浸水深標識の設置

(R2～R3年度) 13箇所設置  
内) 温泉町、下林町 4箇所設置  
令和4年度も随時設置予定。



温泉町



温泉町



温泉町



下林町

# 防災・避難情報の発信体制強化

## 防災・避難情報を確実に！ 分かりやすく！ 住民へ伝達する取組強化

### 防災ラジオ



屋内でも防災行政無線放送を聞くことができる防災ラジオを各家庭、事業所にも配布

### ポケコム (デジタル避難所システム)



指定避難所の混雑状況が確認できるシステム

<ポケコム>



### SNS活用



市公式SNSで、防災・避難情報や日々のお知らせを発信しています。

<p>市公式LINE</p> <p>@hitoyoshi_city 市のイベント情報なども日々発信</p>	<p>市公式Twitter</p> <p>@hitoyoshishi</p>	<p>市公式Facebook</p> <p>@hitoyoshishi</p>	<p>Yahoo!防災速報アプリ</p> <p>「地域の設定」で「人吉市」を設定してください</p>
---	--	---	--

### ライティング防災アラート

球磨川の氾濫危険度を水の手橋の照明色の変化で視覚的に知らせます。緊急時は川や橋に近づかず防災ポータルサイトで確認しましょう！



### 防災ポータルサイト



球磨川などの河川情報、避難所情報など、防災・災害情報をまとめたサイト。防災ラジオの放送履歴、水の手橋のライティング防災アラートの様子も確認できます。

<防災ポータルサイト>



## 安全安心な避難所運営の見直し

### 指定避難所の見直し

●令和2年7月豪雨災害を受け、被災した指定避難所の除外、河川沿いに位置する指定避難所は通常開設する避難所から変更するなど指定避難所の一部見直しを実施。

#### (見直しを行った指定避難所)

- ・東西コミセン、西瀬コミセン ⇒指定避難所から除外
- ・保健センター ⇒当初開設避難所は「人吉第一中学校」へ変更

#### (R4.10台風14号時に追加で開設した避難所)

- ・人吉高校
- ・球磨工業高校
- ・中小企業大学校
- ・人吉第二中学校

### 災害時の施設使用等の協定

●燕商工保育園との災害時の施設使用の協定を締結

### 指定避難所へ災害備蓄倉庫整備

●非常時に必要な備蓄物資を、身近な場所で確保するため、災害備蓄倉庫を指定避難所(9箇所)へ整備。



### 避難所の感染症対策強化

- 台風14号では臨時で感染者用避難所を開設
- 総合防災訓練において新型コロナを含む感染者対策訓練を行った。
  - ・新型コロナや各種感染症患者とのゾーニングを実施
  - ・受付や感染症患者の嘔吐物の処理対応を実施

# 地域の防災力強化

## 地域の防災研修・防災訓練



相良町

## 地区防災計画策定



相良町

西瀬校区

## 避難訓練参加状況

【R4年度】  
出水期前の自主避難訓練 約101名

# 地域の防災力強化

## 地域の防災研修・防災訓練



中原校区公民館

## 避難訓練参加状況

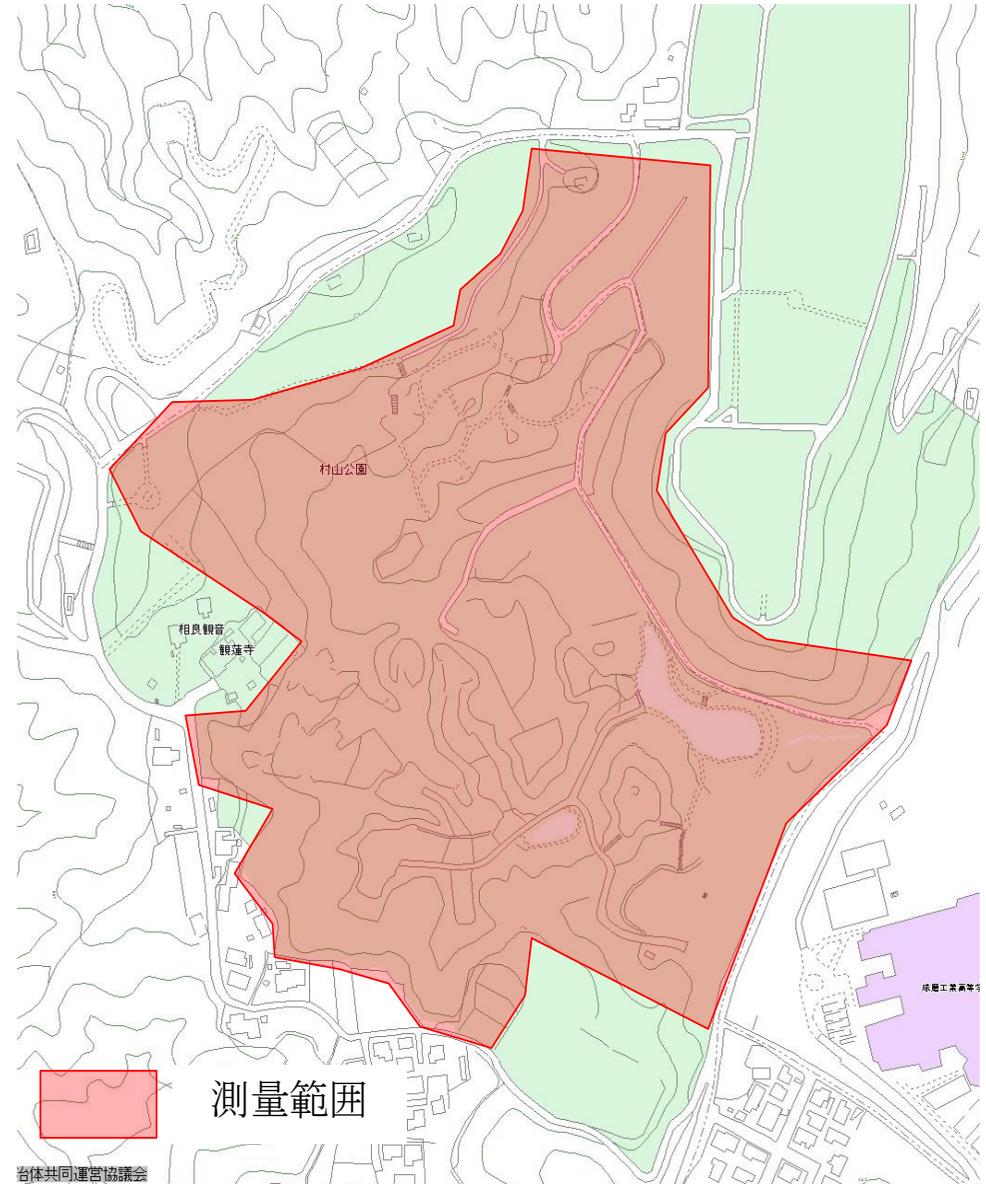
中原校区

【R4年度】  
出水期前の自主避難訓練 約36名

## 高台の避難場所の確保（村山台地）

高台の村山台地内に、大規模水害等の際に、緊急的に車で一時的に避難できる場所の整備に向けた取組を進めています（初期避難の場所として検討中）

- 予備設計を現在実施中
- 今後、地質調査を行ったうえで令和9年度の完成を目標に取組を進めます
- 整備面積：精査中



# 防災ステーション整備事業

●人吉市では復興まちづくり計画に「防災機能の強化など災害に備えた地域づくりに資する拠点づくりの促進」として防災拠点整備についても位置づけを行っています。

●令和2年7月豪雨で甚大な被災を受けた薩摩瀬地区においては、当該地区の地権者の多くの方からも土地協力の声もあり、市全体を見据えた災害に備えた地域づくりに資する拠点づくりを目指しています。

## ○河川防災ステーションの活用【イメージ】

### ◆河川防災ステーション整備事業スケジュール（案）

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度
整備計画作成・測量・設計					運用開始
計画申請・承認					
用地買収・交渉・契約					
整備工事（盛土造成）					
備蓄資材・水防センター整備等					



※国土交通省のHPより引用

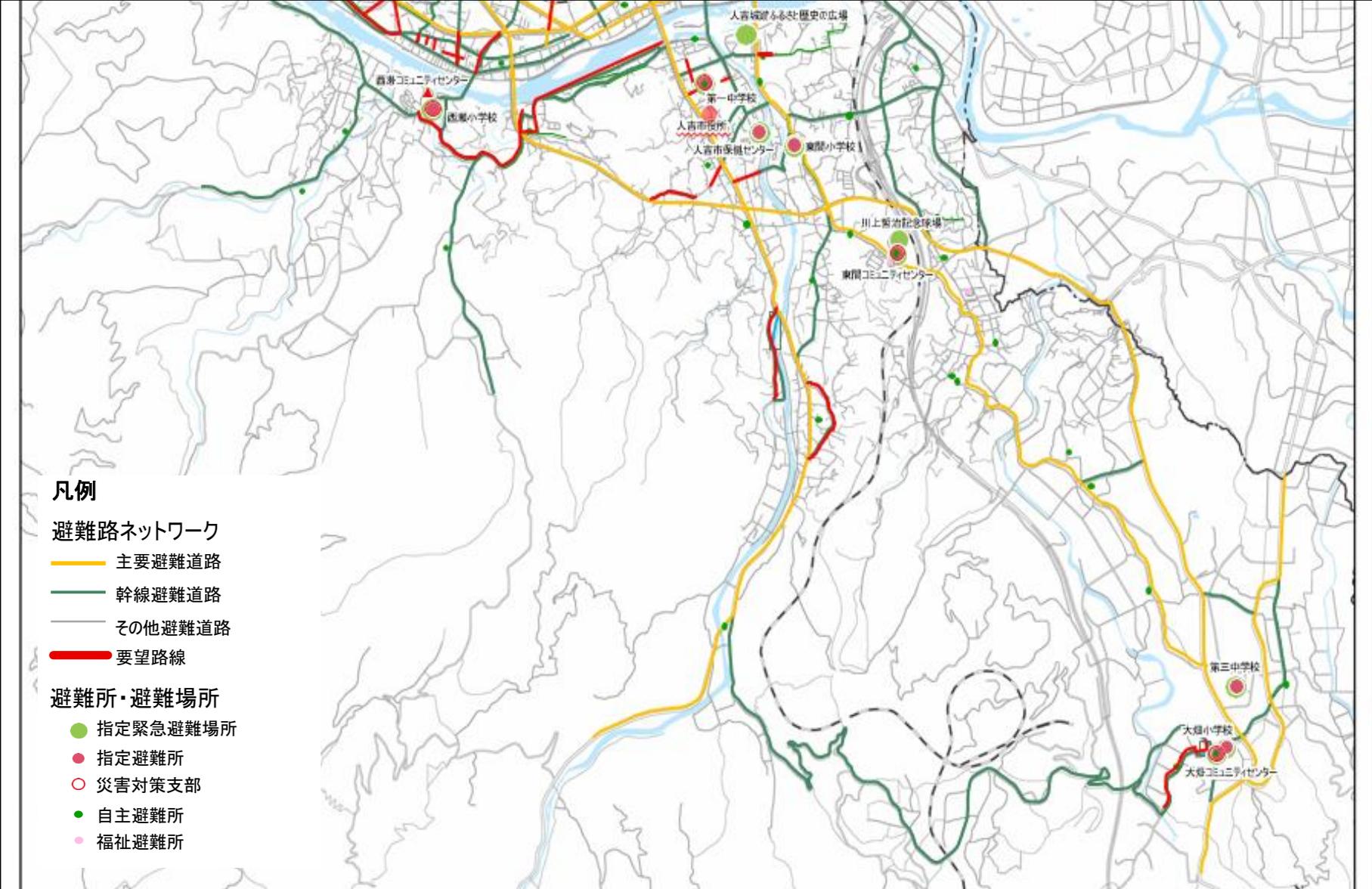


# 避難路整備の進捗状況について



# 避難路整備要望状況（川南地区）

【R3年度地区別懇談会等から】

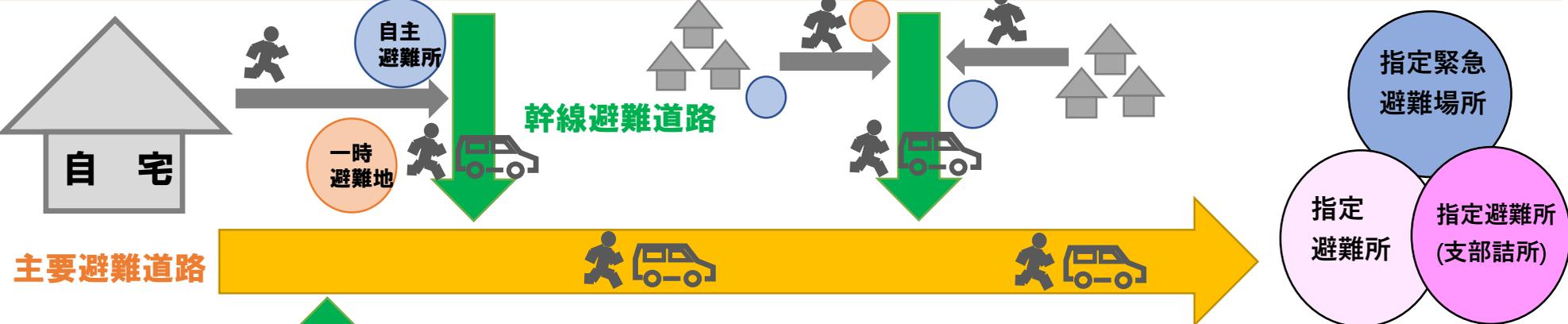


※国県道及び都市計画道路は除く。  
 ※赤線は要望路線であり、整備実施路線ではありません。

# 避難路整備の考え方

- ・ 要望があった路線の整備は、相当の期間が必要。→整備実施路線の選定が不可欠
- ・ 地区別懇談会で挙げられた意見や、これまでの整備課題等を基に復興事業導入可能性調査（FS調査）を実施しています。
- ・ 市内の道路網の形成状況や、避難行動に伴う各路線の利用のされ方等を踏まえ、安全に避難所まで移動できるような避難路を確保するため、整備実施路線の検討を行っています。

## 避難場所、避難所の定義を踏まえた避難路ネットワークのイメージ



<b>主要避難道路</b>	指定避難所等に至るために特に人・車両が集まる路線。都市計画マスタープラン等において、市内を形成する道路ネットワークのうち、主要幹線としての機能を担う路線
<b>幹線避難道路</b>	自主避難所、指定緊急避難場所等を結び、主要避難道路としての機能を担う道路に接続する路線
<b>その他避難道路</b>	自宅、事業所から自主避難所等や主要避難道路、幹線避難道路としての機能を担う道路に接続する路線

# 今後のスケジュール予定

## 令和4年度

8月	復興建設部による現地踏査
9月	9月議会補正予算可決（測量設計予算）
10月～	測量設計業務を随時発注中
12月	12月議会補正予算（測量設計予算要求予定）
令和5年 1月～	各校区への避難路整備説明会 測量設計業務を随時発注予定

## 令和5年度

4月～3月	事業化路線整備方針案策定 地元説明会 各路線の整備計画説明会（随時） 事業路線の用地交渉等
-------	--